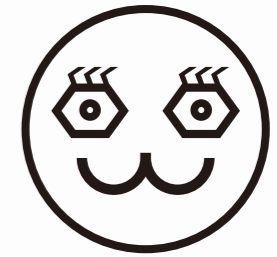




セ  
イ  
ギ  
の  
方。  
り  
く  
っ

# はじめに



ハーバード大学：サンデル教授の「JUSTICE」の講義が「YOUTUBE」に公式にアップされています。  
私たちは、この素晴らしい講義の内容をもっと広めたいと思い、制作に至りました。

この電子書籍では、9人の哲学者の考え方をすることを目的としています。  
まずは、私たちが作成した『タイプ診断チャート』を使用して、  
あなたの考え方が、9人の哲学者のうち、どの哲学者に近いのか調べてみましょう。

次に『道徳に関する質問』を20問、用意しました。  
イエスとノーで回答し、あなたの考えと9人の哲学者の考えを比べてみましょう。

続いてサンデル教授の12回にわたる『講義の概要』を4ページにまとめました。  
流れに沿って9人の哲学者の考え方を明快に理解しましょう。

最後に『セイギマニュアル』を作成しました。  
ある問題を皆で議論する際、あなたの意見、皆の意見を「結果」「自由」「美德」に分類してみましょう。  
その上で議論することで、1人1人が何を「正義」と考えているのかが見えてくると思います。

さあ本書を使用して、あなたのセイギをつくり出しましょう。

ヒロケン・ホクト・ジマ



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# 目次

はじめに.....	01-03	→
タイプ診断チャート.....	04-12	→
哲学者.....	13-22	→
道德に関する質問 Q20.....	23-43	→
サンデル教授の講義の概要.....	44-47	→
セイギマニュアル.....	48-51	→
おわりに.....	52-54	→



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



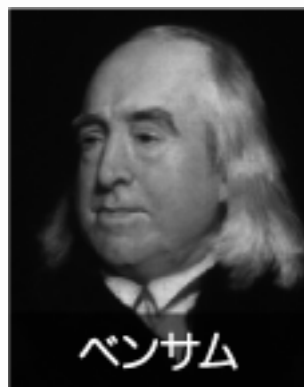
ウォルツァー



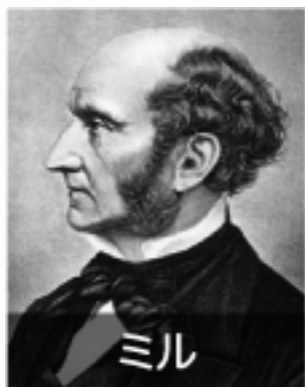
サンデル



あなたはどの政治哲学者と意見が近い!?



ベンサム



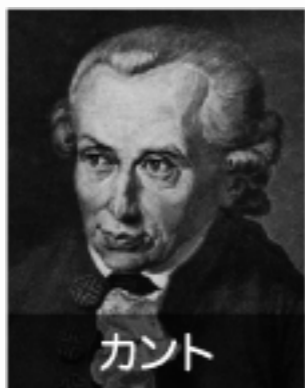
ミル



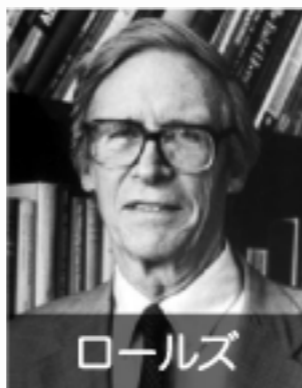
ノージック



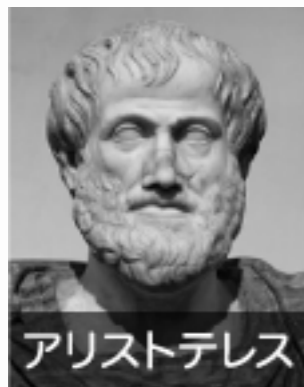
ロック



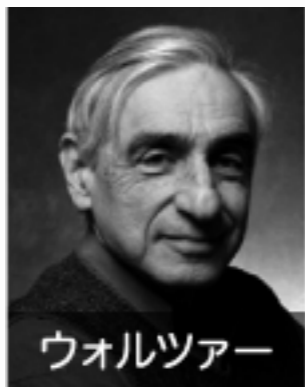
カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

## タイプ診断チャート

「現実には……」「法律では……」といった話は横において、「道徳的に正しい」と思う方を直感で選んでくださいね。

# 診断する



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



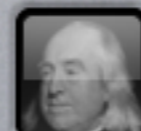
Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.A

## 正しい社会制度の目的とは？

個人の生き方を  
よりよくすること

個人の自由な選択を  
保障すること



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.B

人権が尊重されるのはどうして？

みんなの  
幸せのため

それが人間の  
自然な権利だから



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.C

個人の趣味嗜好に高級・低級の  
区別をつけるのはおかしい？

はい

いいえ



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.D

社会を維持するため  
個人の権利を一部制限してよいか？

よい

わるい



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.E

人々が自分の利害に関わる議論を通じて、  
公正な社会制度を導き出すことは可能か？

可能

不可能



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.F

## 人類共通の道徳は存在する？

存在する

存在しない



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.G

## よりよい生き方って？

より多くの人々の  
幸せに貢献すること

個人を平等な存在として  
尊重すること

各自が己の能力を  
存分に発揮すること

社会で話し合っていく  
ことで明らかになる



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.H

正義は相対的であり社会の範囲や時代によって変わる？  
議論から絶対的な共通善を導き出せる？

正義は  
相対的なもの

絶対的な  
正義はある



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス

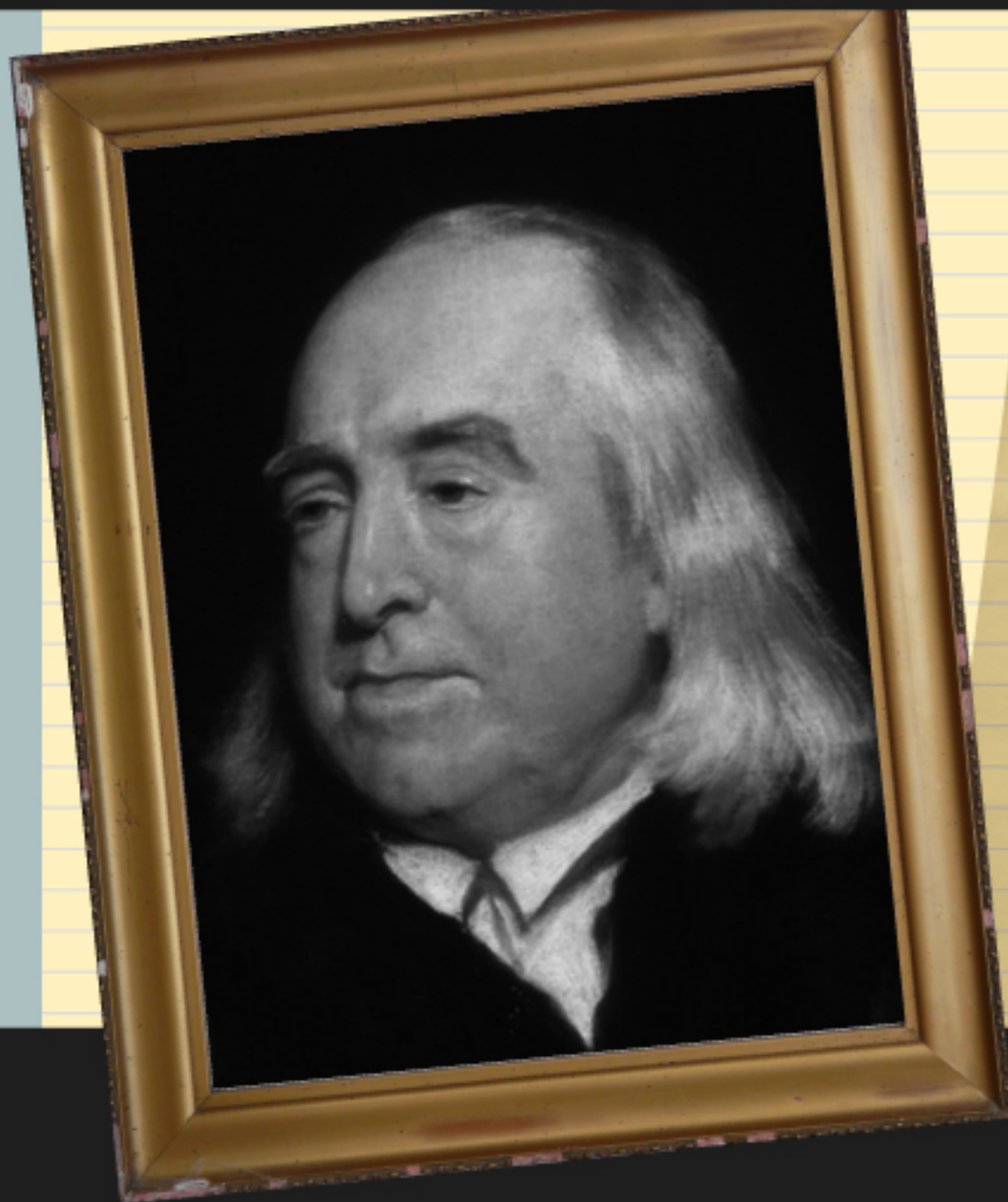


ウォルツァー



サンデル





素朴な功利主義

1748-1832

## ジェレミー・ベンサム

社会全体で幸福と苦痛の差分が大きくなること=善いことだ。  
頭で考えた理屈は捨てる。現実の幸・不幸が大切だ。

「功利主義の創設者」

「量的功利主義」

「最大多数の最大幸福」

YES

NO

01 02 03 04 05 06 07 08  
09 10 11 12 13 15 17 19

素朴な功利主義……社会全体で幸福と苦痛の差分を  
最大化するのが道徳的な正義だ、という考え方。

Jeremy Bentham



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



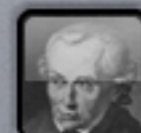
ミル



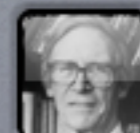
ノージック



ロック



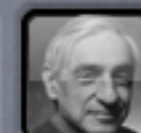
カント



ロールズ



アリストテレス

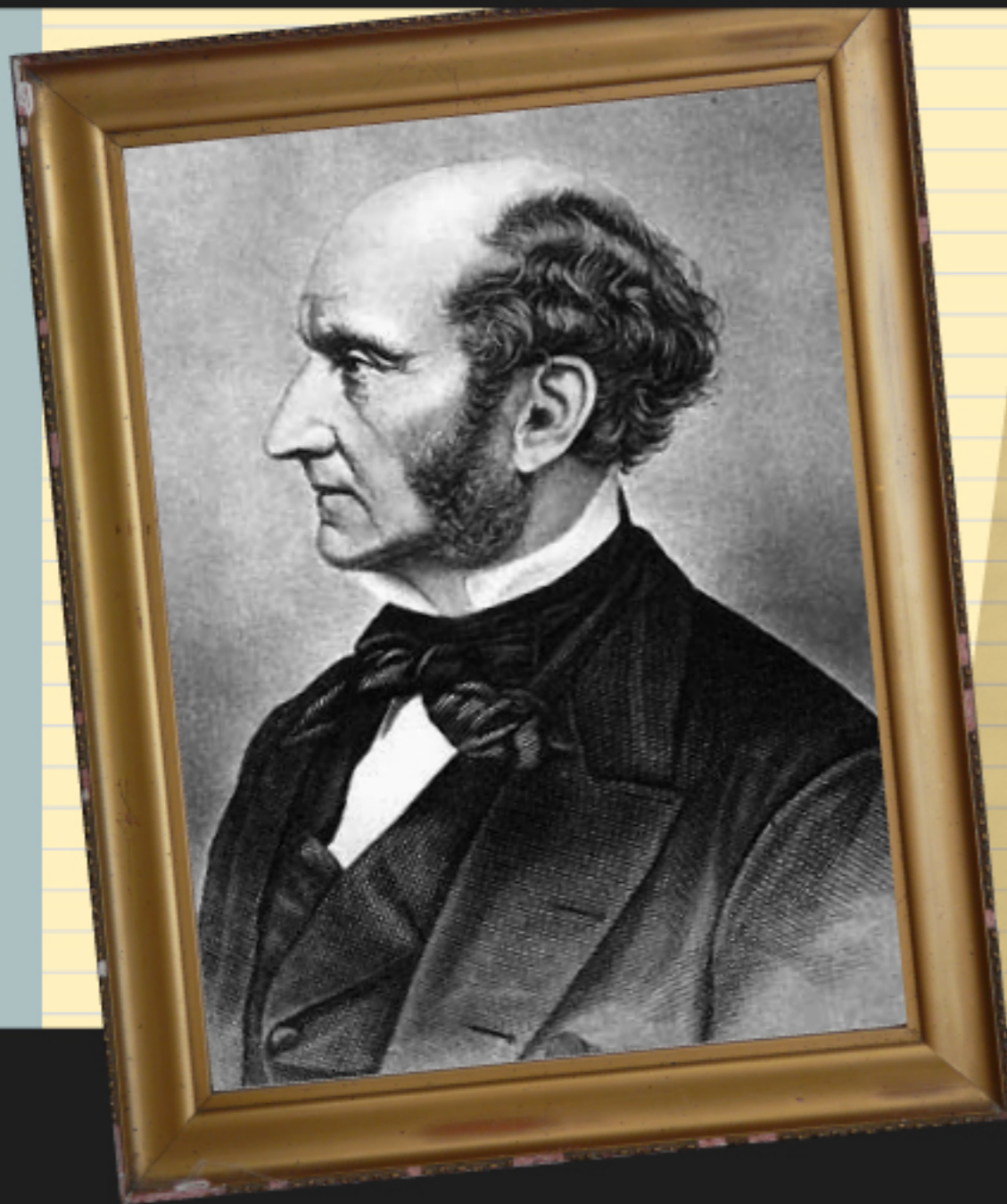


ウォルツァー



サンデル





血の通った功利主義

1806-1873

# J.S ミル

現実の幸・不幸こそ重要だ。ただし、人権尊重の社会的効用、質の違いなど、長く広い視点から慎重に幸福計算をする必要がある。

「質的功利主義」

「満足な豚より不満足な人間」

YES NO

01 02 03 04 05 06 07 08 09  
10 11 12 13 15 17 18 19

血の通った功利主義……幸福と苦痛を量だけでなく質にも注目し、高級な喜びや苦痛の抑制を重視する功利主義。

John Stuart Mill



HOME



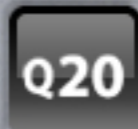
目次



タイプ診断



哲学者



Q20

Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



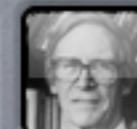
ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス

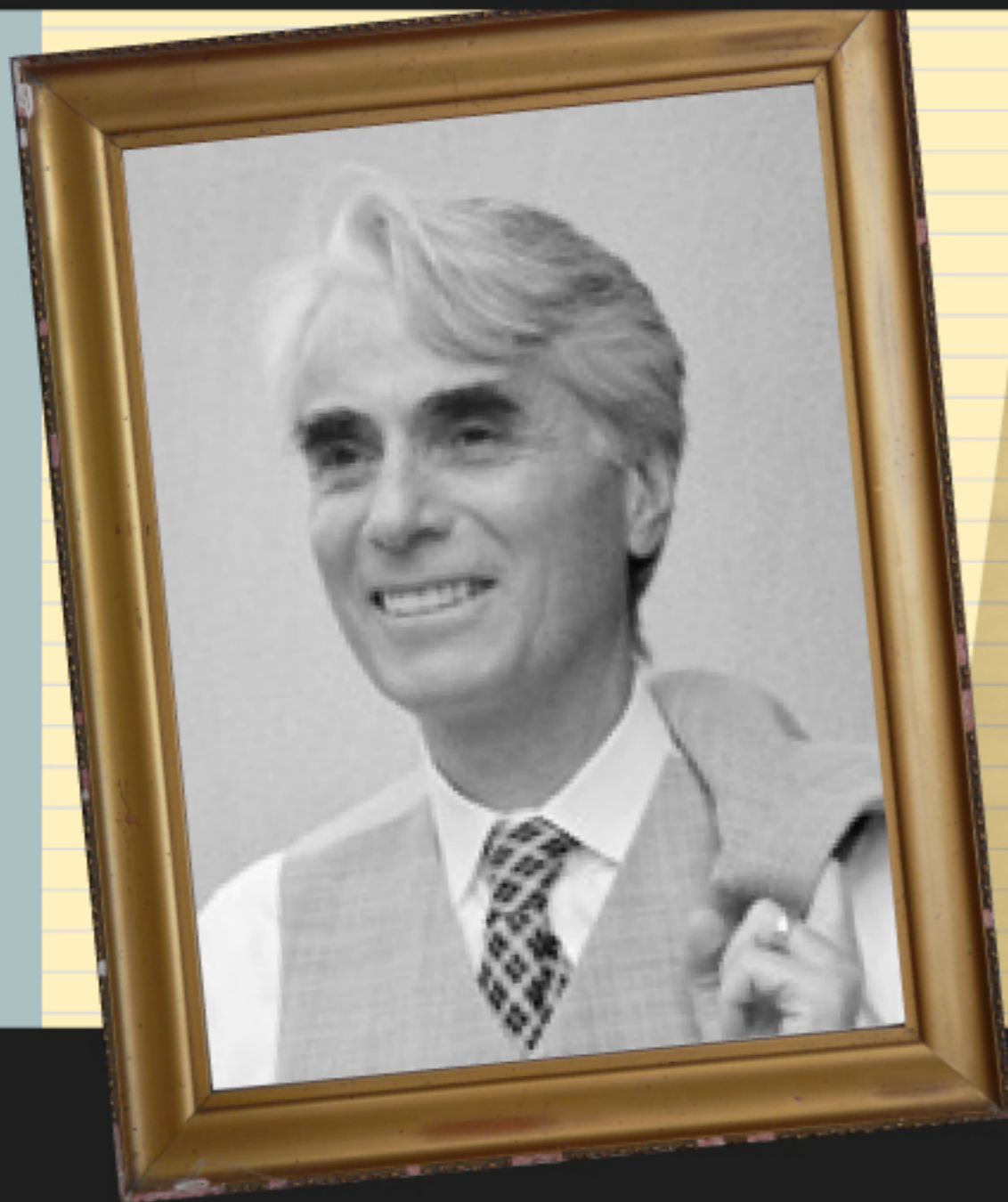


ウォルツァー



サンデル





リバタリアニズム

1938-2002

# ロバート・ノージック

個人は独立した自由な存在。正当に得た労働の成果は、もちろん独占できる。税金の強制徴収は、本質的には奴隷制と同じだ。

「リバタリアニズム」

「自己所有の原則」

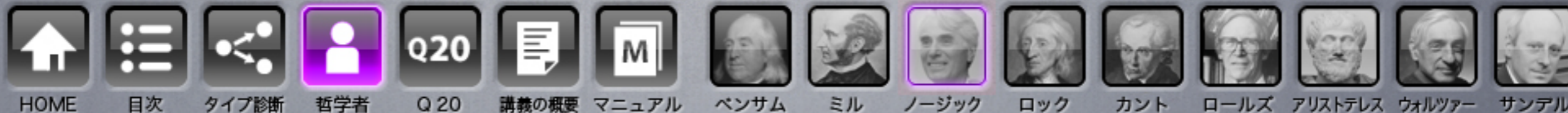
YES NO

01 02 03 04 05 06 07 08  
09 10 15 17

リバタリアニズム……個人の権利は全体の幸福より重要だと考える

自由主義の一派。自己所有の原則を掲げ、社会の必要な領域を狭く捉え、個人の自由を重視する。

## Robert Nozick



HOME

目次

タイプ診断

哲学者

Q20

講義の概要

マニュアル

ベンサム

ミル

ノージック

ロック

カント

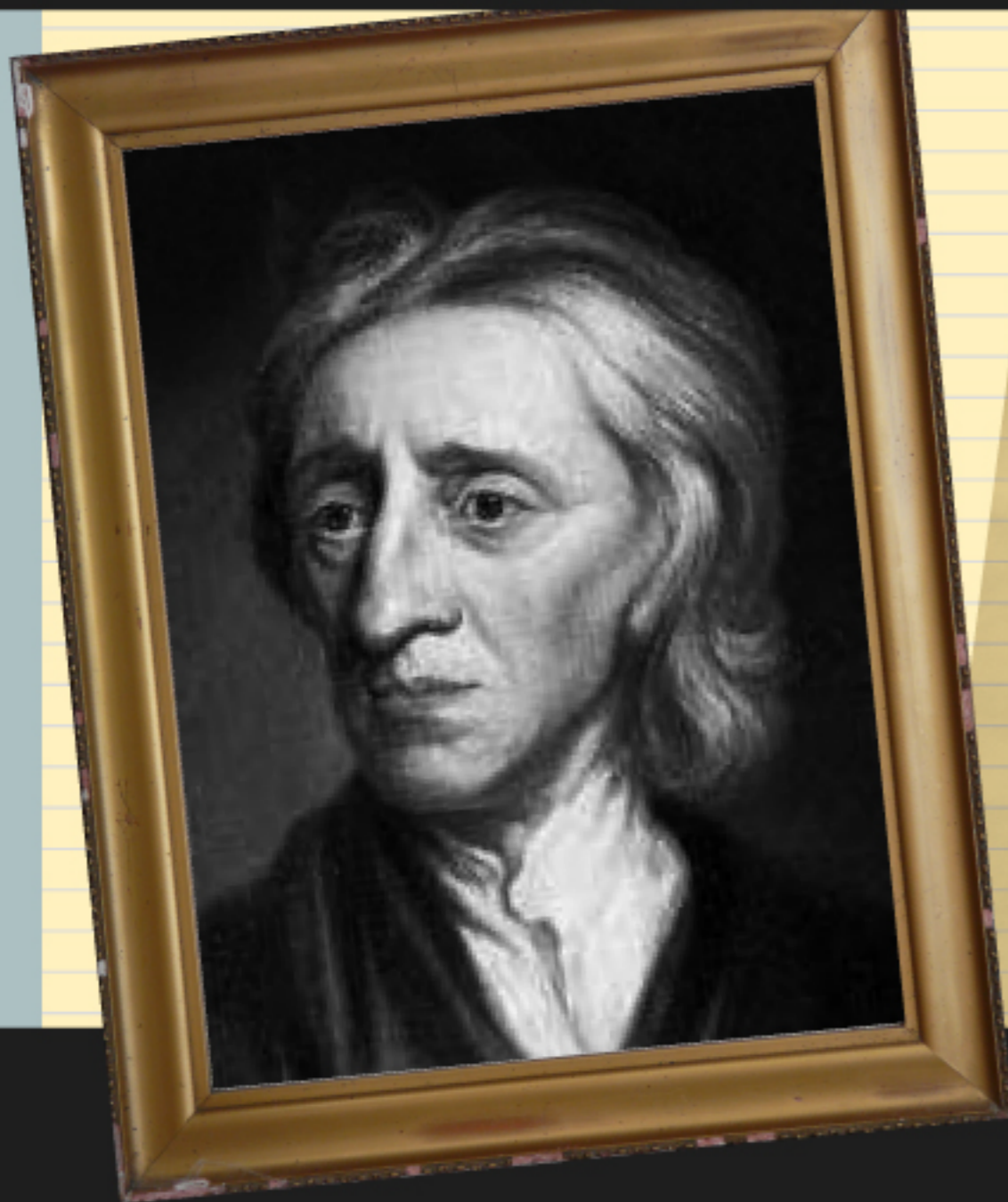
ロールズ

アリストテレス

ウォルツァー

サンデル





社会契約説

1632-1704

# ジョン・ロック

人はみな自然の権利を持っている。しかし権利を守るためには社会が不可欠なので、一般的なルールに基づく社会の維持に必要な権利の制限は正しい。

「不可譲な自然権」

「社会契約」

「一般的なルール」

YES

NO

01

02

04

06

07

08

09

14

社会契約説……自由主義の一派。個人の権利を保護するためには社会を形成する必要がある、という考え方。

## John Locke



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q20

Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



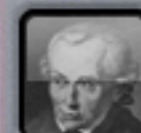
ミル



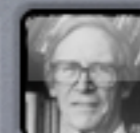
ノージック



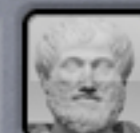
ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル





リベラリズム

1724-1804

# イマヌエル・カント

結果ではなく動機が重要だ。道徳的な行いとは、自らが定めた道徳法則に従うことだ。そして人々の理性はひとつの道徳法則を導く。

「義務論」

「自由と自律」

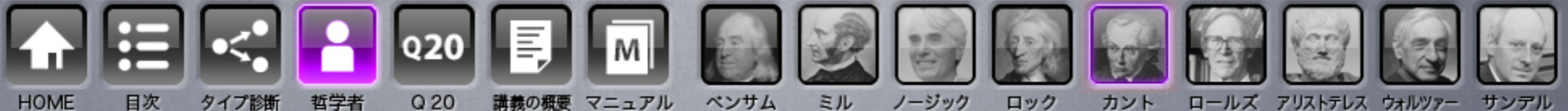
「仮説的な社会契約」

YES NO

01 02 03 04 06 07 08 10 11  
12 13 14 15 17 18 19 20

リベラリズム……自由主義の一派。正義は仮説的な社会契約に由来し、公正な社会制度は価値中立的で自由な選択を保障するものだ、という考え方。

## Immanuel Kant



HOME

目次

タイプ診断

哲学者

Q20

Q 20

講義の概要

M

マニュアル

ベンサム

ミル

ノージック

ロック

カント

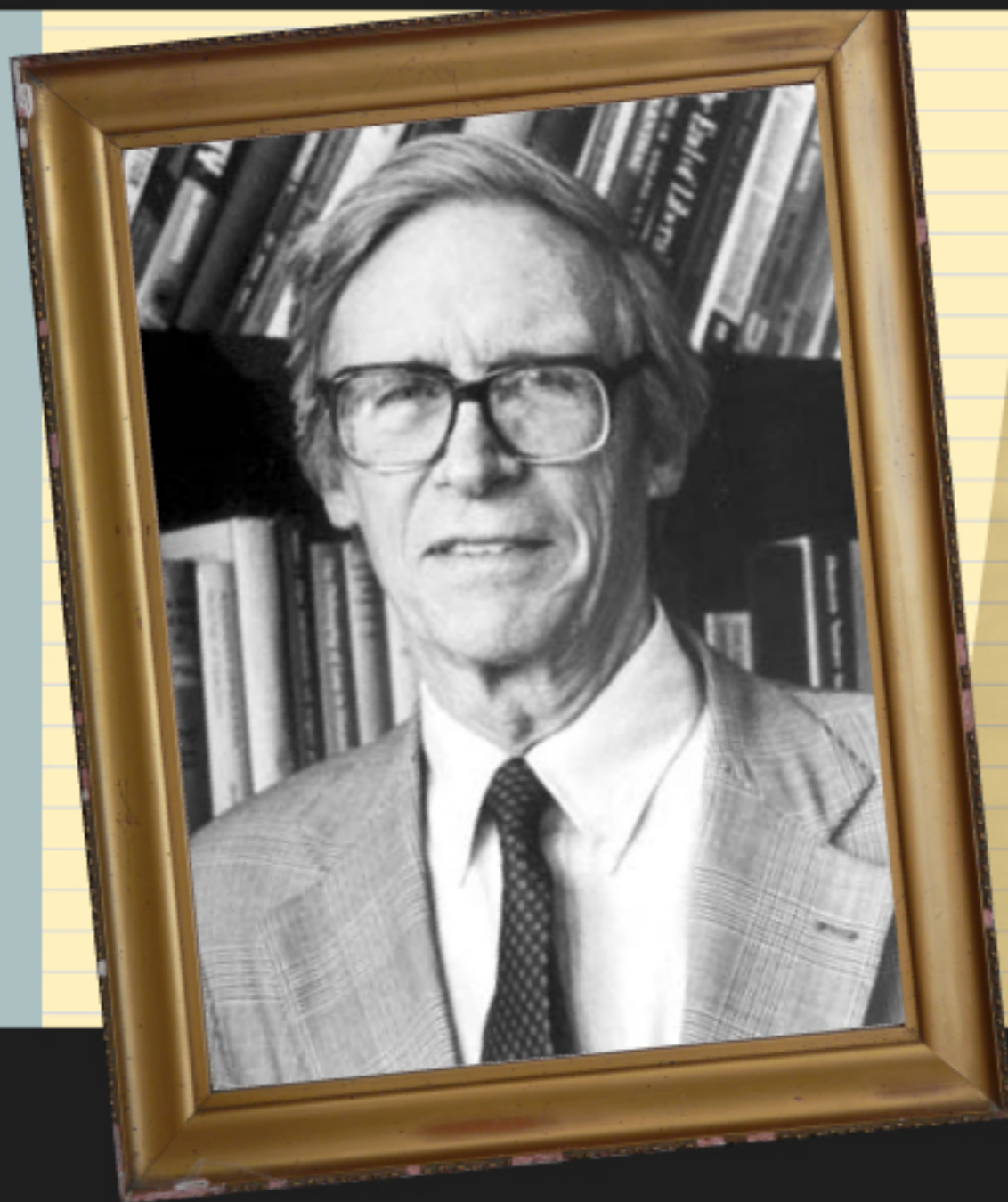
ロールズ

アリストテレス

ウォルツァー

サンデル





リベラリズム

1921-2002

# ジョン・ロールズ

様々な価値観が並存する社会において、最も不遇な人々にも平等な権利を保障するためには、道徳と分離した公正な制度が必要だ。

「リベラリズム」

「無知のヴェール」

「道徳と正義の分離」

YES

NO

01 02 03 04 06 07 08 10

12 14 15 16 17 18 19 20

リベラリズム……自由主義の一派。正義は仮説的な社会契約に由来し、公正な社会制度は価値中立的で自由な選択を保障するものだ、という考え方。

## John Rawls



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



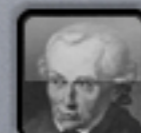
ミル



ノージック



ロック



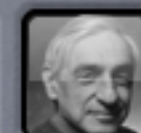
カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル





## 目的論

B.C.384-B.C.322

# アリストテレス

自由とは、各自が己の能力を存分に発揮することだ。正義とは、美德に基づき目的に適った名誉や権力の分配を行うことだ。

「目的論」

「適合」

「美德と名誉」

YES NO

02 06 08 15 16 17 19

目的論……人や物には目的があり、その目的と適合する行為や分配が正義だ、という考え方。

Aristoteles



HOME



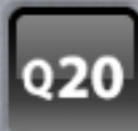
目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



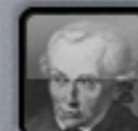
ミル



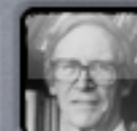
ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス

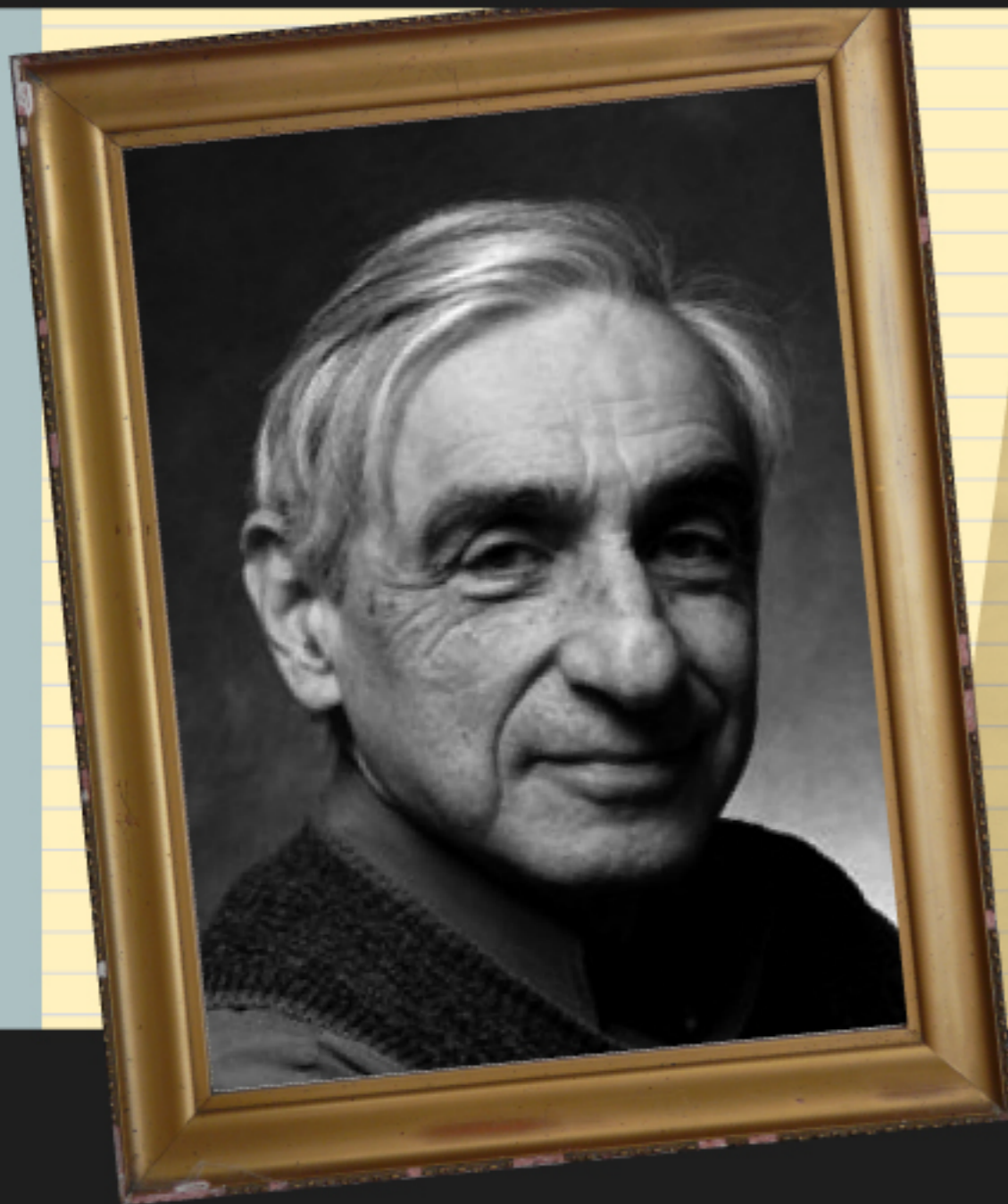


ウォルツァー



サンデル





コミュニタリアニズム

1935-

## マイケル・ウォルツァー

人は社会的な役割の担い手として、道徳的にふるまう。  
正義とは相対的なものだ。ある集団の構成員の常識が正義となる。

「コミュニタリアニズム」

「正義は相対的」

YES NO

01 02 03 09 18 19

コミュニタリアニズム……権利は重要だが、人々が持つ美徳の観念も  
正義と関連付けるべき、という考え方。

Michael Walzer



HOME



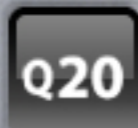
目次



タイプ診断



哲学者



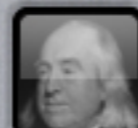
Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



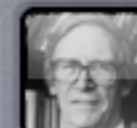
ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル





コミュニタリアニズム

1953-

## マイケル・サンデル

正義は人々の道德観念と結びついている。多元的な社会においても、私たちは議論を通じて共通善を追求していくことができる。

「共通善の追求」

「正義は道德と切り離せない」

YES

NO

14 18 19 20

コミュニタリアニズム……権利は重要だが、人々が持つ美德の観念も正義と関連付けるべき、という考え方。

Michael J. Sandel



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



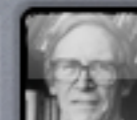
ノージック



ロック



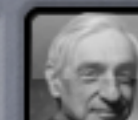
カント



ロールズ



アリストテレス



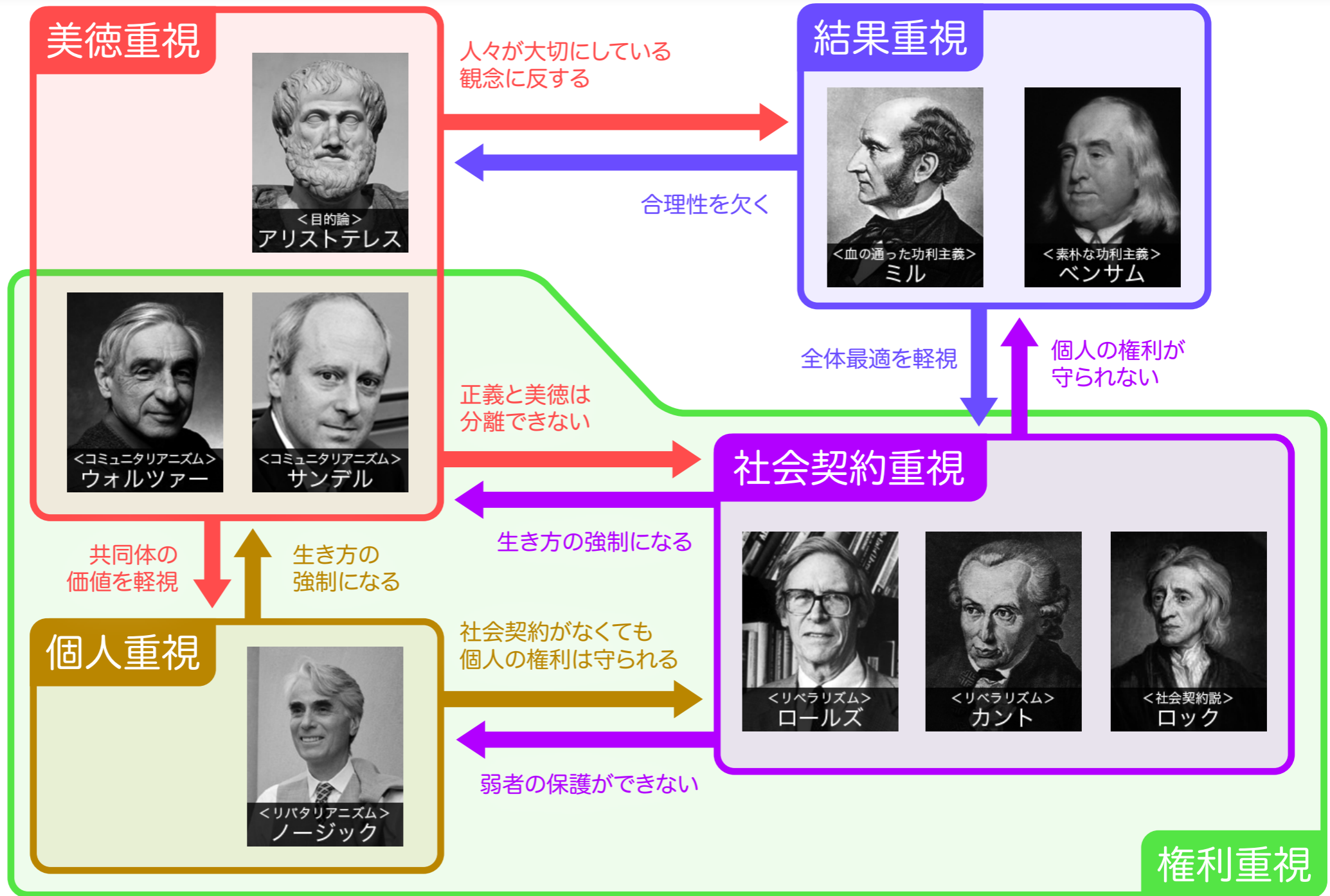
ウォルツァー



サンデル



# 哲学者 相関図





YES NO

# Q20 20の質問から「正義」を考える

20の道徳に関する質問について、一緒に考えていきましょう。  
そして、みなさんと考えの近い哲学者はどう考えるでしょうか。  
また、他の政治哲学者たちなら、どう答えるでしょうか。



## 結果と正義

- Q01 6人のうち、1人が助かる方法と5人が助かる方法しか選べない場合、5人を助けるべきだ。
- Q02 多くの命を助けるためなら、直接には関係のない1人を殺すことは道徳的に許される。
- Q03 社会に大きな経済的利益があるならば、ある程度の人命のリスクは許容される。
- Q04 人権は尊重すべきだが、それはより多くの人々を幸せにするためだ。
- Q05 低級な娯楽と高級な娯楽を区別し、社会は後者を積極的に支援すべきである。

## 自由と正義

- Q06 人は自分自身に関する絶対の権利を持っており、他人や社会のいかなる干渉も拒否できる。
- Q07 税金の強制的な徴収はおかしい。本来は社会の維持に必要な費用は自発的な寄付で賄うべきだ。
- Q08 特定の個人・集団に対する不平等な扱いは、民主的な手続きを踏めば認められる。
- Q09 国の防衛は必要なので、兵役は国民の義務である。
- Q10 代理母契約を結んだ女性が、出産後に赤ちゃんへの愛着から契約を破棄することは許されない。
- Q11 自分のための行いであっても、結果的に多くの人々を幸せにした場合、賞賛に値する。
- Q12 道徳の原理とは、時と場合によって変化するものではなく、普遍的に成り立つものである。
- Q13 聞き手の印象が同じなら、全くのウソと紛らわしい真実には道徳的な違いがない。
- Q14 人々が自分の利害に関わる議論を通じて、公正な社会制度を導き出すことは不可能だ。
- Q15 個人の自由な選択を保障することが、公正な正義を行うことである。

## 美徳と正義

- Q16 難関大学への合格は、大学が求める資質を偶然持っていた結果に過ぎない。
- Q17 得意なこととやりたいことが違っていった場合、得意なことをやるべきだ。
- Q18 自分の子と他人の子が溺れていたとき、自分の子の救出を優先するのはえこひいきだ。
- Q19 正義は社会を構成する人々の「常識」に合っているかどうかによって決まる。
- Q20 人々の価値観が様々でも、議論によって、皆が納得する考えに到達できる。

# Q.01 6人のうち、1人が助かる方法と5人が助かる方法しか選べない場合、5人を助けるべきだ。

## YES

- 他に選択肢がないならば、より多くの命が助かる方を選ぶのが正しい。
- 常識的な判断に従うのが正しい。

ベンサム

ミル

ロック

ウォルツァー

## NO

- 人の生きる権利は、「より多くの人を助けるため」という理由で犠牲にしてよいものではない。5人の命を選ぶ苦渋の決断は、致し方ないものではあっても、「道徳的に正しい」とはいえない。

ノージック

カント

ロールズ

## 解説 「結果と正義」

18世紀、長らく社会を支配してきた観念的な倫理道徳を否定し、現実の幸福と苦痛のみを重視する考え方が提起されました。ベンサムは、最大多数の最大幸福を実現する方策に反対する正義なんておかしい、と考えたのです。結果から正義を導く考え方を『帰結主義』といい、その典型が『功利主義』です。ベンサムとミルは功利主義を唱えた代表的な政治哲学者で、「社会全体の幸福の総和と苦痛の総和の差分を最大化することが正義だ」と考えました。なお、Q.01で【Yes】側にいるロックは、個人の権利を守るために社会が形成されたと考える『社会契約説』を唱えた人物です。ロックと功利主義者の違いは、Q.04で明らかになります。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.02 多くの命を助けるためなら、 直接には関係のない1人を殺すことは道徳的に許される。

## YES

- 1人の命より、多くの命の方が重い。 **ベンサム**
- 人為による死は、不可抗力による死よりはるかに苦痛が大きい。また全体の利益のためにいつ自分が犠牲になるかもしれない社会では、人々は安心して暮らせない。幸福と苦痛を正確に見積もって決断する必要がある。 **ミル**
- 逆説的だが、個人の権利を守るためには、社会は一定の犠牲を避けられない場合がある。ただし個人の権利は等しく尊重されなければならない。犠牲者の選択は平等で一般的なルールに基づかねばならない。 **ロック**
- 社会にとってその犠牲が必要であり、その役割にふさわしい人がいるならば、許される場合もある。 **アリストテレス**

## NO

- 人間の生きる権利は、「より多くの人を助けるため」という理由で犠牲にしてよいものではない。 **ノージック** **カント** **ロールズ**
- 自らの意思で大勢を救うために自己を犠牲とするのは自由だが、社会が個人に犠牲を強いてはならない。 **ノージック**
- 人間はその存在自体を尊重しなければならない。目的を実現するための道具として人間を用いるのは間違いだ。 **カント** **ロールズ**

## OTHER

- ケースバイケースで社会の常識が判断すればよい。 **ウォルツァー**

### 補足説明

ベンサム以外は条件付の【Yes】です。また、ロックの議論は個人の権利を守ることから出発していることに注意してください。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.03 社会に大きな経済的利益があるならば、 ある程度の人命のリスクは許容される。

## YES

- ・人命のリスクを減らすのはよいことだが、無制限にコストをかけ、経済の発展を阻害すれば、逆に幸福と苦痛の差分は縮小してしまう。 **ベンサム** **ミル**
- ・経済の発展は、社会全体の死亡率を引き下げる。 **ミル**
- ・個人が経済的利益と引き換えにリスクを引き受けるのは自由である。たとえば運転中の携帯電話の使用などを、政府は規制すべきではない。 **ノージック**
- ・例えば、交通事故のリスクをゼロにすることを最優先とせず、経済的合理性の追求に片足を置きながら自動車は普及した。同時に自動車の安全基準は少しずつ強化されてきた。経済的利益と人命のリスクのバランスは、社会の常識が決めるのである。 **ウォルツァー**

## NO

- ・人間には至上の価値がある。一定のリスクの許容は現実的には不可避の選択かもしれないが、「道徳的に正しい」判断とはいえない。 **カント** **ロールズ**

### 解説 「人の命は最優先事項か？」

イギリスでは1865年、安全のため、自動車の前を赤い旗を持った人が歩いて先導することを義務付ける赤旗法が成立しました。そのためイギリスでは自動車の普及が遅れ、人々の不満が高まった結果、1896年に赤旗法は廃止されました。その後、世界中の多くの国で、交通事故による死者は小規模な戦争を上回る水準となりました。しかし赤旗法を復活させた事例はひとつもありません。

例を変えて、食品の規制について考えてみましょう。毎年、モチやアメで窒息死する方がいますが、「危険は明らかだから規制すべき」でしょうか？ ベンサムとノージックは、それぞれの理由で反対するでしょう。ミルは悩みそうです。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



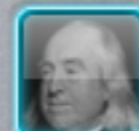
Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



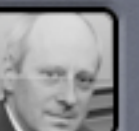
ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.04 人権は尊重すべきだが、それはより多くの人々を幸せにするためだ。

## YES

- ・人権の擁護は、人々が安心して暮らせる社会を実現する手段だ。したがって、人権と多数の幸福が究極的に矛盾する場合は、人権を制限してよい。 **ミル**

## NO

- ・人権といった観念にとらわれると、現実を見る目が曇る。具体的な幸福と苦痛の差分を最大化させることに集中するべきだ。 **ベンサム**
- ・人間の生命、自由、財産に関する権利は自然のものだ。 **ノージック** **ロック** **カント** **ロールズ**

### 解説 「功利主義は伝統的な美徳の観念を批判する」

Q.01の解説の通り、ベンサムは観念的な道徳律を批判し、純粋で素朴な功利主義を唱えました。ベンサムの理論を拡張し「血の通った功利主義」を唱えたミルもまた、『自由論』（1859年）で他者に害をなさない限り個人の自由を最大限認める「危害の原理」を提案し、伝統や慣習に挑戦しました。

### 解説 「ロックと功利主義者の違い」

ロックは「個人の権利を守るため社会が生まれた」と考える『社会契約説』を唱えました。そして社会が個人の権利を守るためには、人々が一定の犠牲を払う必要がある、とロックは認めます。しかし市民の娯楽のためにキリスト教徒を猛獣と戦わせたローマ帝国を、ロックは原理的に否定しました。社会契約に反して平等な人権を守らない国家は、打倒されるべきだといいます。

一方、功利主義は、異教徒と猛獣の格闘を、原理レベルでは否定できません。

人権の保護を追求するロックの社会契約説は、個別の問題では功利主義と意見が一致しがちですが、根本の発想には大きな隔たりがあります。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.05

低級な娯楽と高級な娯楽を区別し、  
社会は後者を積極的に支援すべきである。

YES

- ・教養の有無で娯楽の選択が不可逆に変化するの、高級な娯楽が、より人間の尊厳に適っている証拠だ。ゆえに高級な娯楽は保護に値する。 **ミル**

NO

- ・教養の豊富な人と乏しい人の趣味嗜好を区別する理由はない。どちらも、それぞれの人にとって「よい」のであり、対等なのだ。 **ベンサム**
- ・政府は人々の選択の自由に干渉するべきではない。 **ノージック**

## 解説 「功利主義の分類」

まず幸福計算の基準を「行為」とする『行為功利主義』と「規則」とする『規則功利主義』に分かれます。特定の局面では幸福が増大する行為も、みなが同様にしたら幸福が減少するかもしれません。しかし規則の徹底が、目の前の不幸を解消しないことも事実です。よって柔軟なルールの運用が折衷案となります。

次にQ.05の通り、『量的功利主義』と『質的功利主義』に分かれます。

さらに、幸福と苦痛の差分の最大化を目指す『幸福主義型功利主義』に対し、20世紀には幸福計算を放棄して人々の希望を最大限実現することを目指す『選好充足型功利主義』が登場しました。

## 解説 「客観的事実よりも個人の实感を重視する功利主義の試み」

ミルは「満足な豚より不満足な人間がよい」と述べ、幸福の質的差異を「人間の尊厳」から説明したため、観念を否定した功利主義の前提から離れた、といわれます。しかしミルの発想を少しベンサムに寄せ、「人々がそういう観念を持っている」という「事実」を幸福計算の前提とするにとどめるならば、功利主義は人々の価値観の違いを内包した、強力な正義の概念となります。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.06

## 人は自分自身に関する絶対の権利を持っており、他人や社会のいかなる干渉も拒否できる。

### YES

- ・人は自分自身の所有者であり、他者に強制されない消極的自由がある。能動的な積極的自由も、他者に害をなさない範囲で最大限認められる。

ノージック

### NO

- ・大きな幸福のために個人の権利が制限される場合もある。
- ・そもそも人は自分自身を根源的には所有しておらず、自分自身を完全に自由にする権利を持たない。

ロック

カント

ロールズ

アリストテレス

### 解説 「自由と正義」

不自由な伝統社会の美德（徳倫理学）と対立した功利主義は、「他人に迷惑をかけない限り何をするのも自由だ」という「危害の原理」を見出します。これは、自由から正義を導く考え方の源流となりました。→Q.04

功利主義は、観念的な価値観から人々を解放し、現実の幸福を最大化することを目指しました。ところが、伝統的価値観が後退したとき、人々は自由主義を信奉していました。自由が認められるのは「害がないから」ではなく「人には生命、自由、財産の自然な権利があるから」だということです。→Q.04

自由主義の典型は、ロック、カント、ロールズの『社会契約説』です。個人の平等な権利を保護するため、社会は公正な制度を提供する責務がある、と考えます。とくにカントとロールズの立場は『リベラリズム』と呼ばれます。→Q.14

ノージックの『リバタリアニズム』は、自由主義の新しい潮流です。自己所有の原則を掲げ、個人単位での自由の追求を前面に押し出します。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



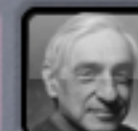
カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.07

税金の強制的な徴収はおかしい。

本来は社会の維持に必要な費用は自発的な寄付で賄うべきだ。

## YES

・課税は労働の果実の収奪であり、強制労働に等しい。

国家が個人を部分的に所有する奴隷制といえ、自己所有の原則を侵害している。

ノージック

## NO

・行政サービスは社会の幸福を増大させるので課税は正しい。

ベンサム ミル

・貧しい者は社会的な支援を必要としている。

ロック

カント

ロールズ

・民主的な同意に基づく課税は強制ではない。

ロック

カント

ロールズ

・成功は社会基盤と運に拠るところが大きい。

カント

ロールズ

## 解説 「リバタリアニズム」

ノージックが唱えたリバタリアニズムは、経済発展により人々が飢えから解放され、人権概念が広まった社会で普及しました。

かつて自由主義者は、個人の無力さから社会契約説を当然視しました。しかし多くの人々が豊かになった現代の先進諸国では、個人の権利を守るため政府の干渉主義的な政策を受け入れる必然性に、疑問符がつくようになったのです。

リバタリアンは課税を妥協と解釈します。現実的な妥協と道徳的な正義は異なります。課税は個人が持つ絶対の権利の侵害なので、多数決によって課税を正当化するのは、功利主義と同様、人権を軽視する誤りを犯していると考えられます。

また、富の格差が双方の納得する自由な経済取引の結果として生じているなら、富者が貧者に道徳的な責務を負う理由はありません。富者が貧者から収奪しているのではないからです。運による格差も同様に富者に責任のないことであり、富者が強制的に所得を再分配される道徳的な根拠とはなりえません。

以上が、社会契約論とリベラリズムに対するリバタリアニズムの反論です。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.08 特定の個人・集団に対する不平等な扱いは、 民主的な手続きを踏めば認められる。

## YES

- ・結果、社会全体の幸福が増大するなら、正しい。 **ベンサム** **ミル**
- ・人には個性があり、最適な処遇は各々異なっている。 **アリストテレス**

## NO

- ・民主的な手続きは個人の自然権の侵害を正当化できない。 **ノージック**
- ・社会に必要で平等な負担なら認められる。 **ロック** **カント** **ロールズ**

### 解説 「リバタリアニズムと社会契約説」

リバタリアニズムと社会契約説は、いずれも個人の自然権を奉じる自由主義に属しますが、「社会」の必要性に対する認識に決定的な違いがあります。

リバタリアニズムは、個人で権利を守れると考えるので、あらゆる課税を否定します。社会契約説は、権利の保護には社会の形成が必要と考えますので、社会の維持コストを平等に負担することを求めます。

### 解説 「社会契約説は不平等な負担を否定する」

ロックの社会契約説では、契約は平等なので、特定の個人・集団に対する不平等な扱いは認められません。しかし平等で一般的なルールに基づく、必要不可欠の負担であれば、それを受け入れるのが人々の義務です。

### 解説 「そのルールは一般的か？」

ルールの平等性、一般性が問われる事例の典型は、「所得の再分配における累進課税の是非」や「犯罪者の人権」などです。

Q.06解説の通り、現代の先進諸国では自由主義の概念が普及しました。しかしQ.08のように自由主義を奉じる人々が団結して不平等なルールを批判することは稀で、むしろ功利主義に沿った議論が展開されることが少なくありません。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.09

国の防衛は必要なので、  
兵役は国民の義務である。

YES

- 社会契約は人々の自然権を守るための相互的な契約であり、お互いに社会を維持するために必要な負担をする平等な義務を負う。 **ロック**

NO

- 志願制の軍隊ならば意思に反して兵役に就く者は存在せず、義務として平等に兵役を割り振るよりも、社会の幸福は増大する。 **ベンサム** **ミル**
- 徴兵制は自由意志によらない労役を課す奴隷制に他ならない。 **ノージック**
- 多くの国民は、徴兵制の復活を間違いだと考えている。 **ウォルツァー**

## 解説 「義務の市場取引」

志願制の軍隊には2つの反論があります。

ひとつは「社会に必要だが危険」な仕事を、主に経済的に恵まれない層が担うのは「暗黙の強制」によるもので不公平だ、というものです。しかし、採炭など兵役以外の「社会に必要だが危険」では、この不公平は問題視されていません。

もうひとつの反論は、兵役は社会に対する各個人の義務であり、市場で取引してはならない、というものです。実際、陪審員制度では志願制は採用されていません。一般市民が兵役と無関係になった結果、指導者の戦争への誘惑を民主主義が適切にコントロールできなくなっている、との懸念もあります。

兵役と陪審員制度の比較からは、多くの人々が市民の義務といった観念を重視しつつも、極めて大きな効用の改善があるなら功利主義に流れる、という様子が見えられます。徴兵制を廃止した米軍が今も志願制に留まり、傭兵制へ進まない理由も、ここにありそうです。

Q.09、Q.10では、この先いっそう重要な概念になる「契約」について理解を深めるため、その性質と限界について検討していきます。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.10 代理母契約を結んだ女性が、 出産後に赤ちゃんへの愛着から契約を破棄することは許されない。

## YES

- ・双方が納得して自発的に結んだ契約は、守られるべきだ。 **ベンサム** **ミル**
- ・個人の選択の自由を反映した契約への社会的な干渉は不当だ。 **ノージック**

## NO

- ・子どもへの愛着は、たとえ出産の経験があっても事前には予想できない。  
この契約は情報が不十分な状態で結ばれたので、無効である。 **ロールズ**
- ・人間は尊敬の対象であり、道具として利用してはならない。 **カント**

### 解説 「契約の性質」

契約の義務や拘束力の源泉は、自らに義務を課すという「同意の自律性」と、互惠関係の構築・維持に必要な「便益の相互性」にあります。より根源的なのは便益の相互性です。自発的な同意は契約の公正さを保証しませんし、便益の交換は同意なしでも義務を発生させる場合があります。Q.10の実例「ベビーM訴訟」では、利益の相互性も、双方の自発的同意も存在しました。しかし裁判では「契約が有効となる条件を満たしていたか」が争われました。焦点は「出産の経験から、赤ちゃんへの愛情を事前に予測できたか」です。

### 解説 「契約が有効となる条件」

1. 強制がないこと（経済的不平等などによる暗黙の強制を含む）
2. 判断に必要な情報が揃っていること

### 解説 「市場取引にそぐわないもの」

市場取引の成立は当事者間の合意を意味しますが、社会の同意が得られない場合もあります。市民の義務や生殖行為などの「崇高な行為」を、当事者間の合意だけで分担を割り振ることは、多数派の道徳観念に反するようです。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



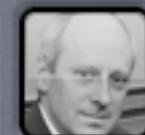
ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.11

自分のための行いであっても、  
結果的に多くの人々を幸せにした場合、賞賛に値する。

**YES**

・社会全体の幸福を増やすのはよいことだ。

ベンサム

ミル

**NO**

・結果ではなく動機（善意）が大切である。

カント

## 解説 「自由と道徳－カントの義務論」

自由とは、私たちが食べたいものを食べ、着たいものを着、住みたいところに住む、といったことでしょうか。『リベラリズム』に属する政治哲学者カントは、人が状況に応じて最大の利益を得ようとしたり、動物的な欲求を満たそうとするとき、人は状況や欲求に縛られている、と考えました。

カントは「人は自ら定めた義務に従うときのみ真に自由であり、その真に自由な行動こそ人間に特異な道徳的な行為なのだ」と定義します。そして、人が純粹実践理性に従うならば、個人の価値観とは無関係に人類共通の義務（＝道徳法則）が見出されるはずだ、とも主張しました。

カントの提示した道徳法則の具体的内容はQ.12解説で紹介しますが、以上のカントの主張を受け入れるならば、状況に応じて利益の最大化を目指すベンサムやミルの功利主義は、道徳とは無関係の考え方だ、ということになります。

Q.11は、例えば「発明家は道徳的な賞賛に値するか？」といった問いに置き換えて考えてみることでできるでしょう。現実の不都合に発明で対処するのは、カントの定義では状況への対応です。即ち、真に自由な行動とはいえません。発明がどれほど多くの人々の利益になるうとも、それは道徳とは無関係です。

注意していただきたいのは、カントは発明家を賞賛したがる、ということです。ただしそれは「道徳的な賞賛」ではなかったに違いありません。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



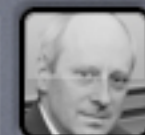
ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.12 道徳の原理とは、 時と場合によって変化するものではなく、普遍的に成り立つものである。

## YES

・正義の原理は普遍的である。 **カント** **ロールズ**

## NO

・状況に応じて柔軟に幸福を追求すべきである。 **ベンサム** **ミル**

### 解説 「道徳の原理の普遍性」

Q.12は行動レベルでの一貫性に焦点を当てた問いです。カントは、「嘘をつくな」「人を殺すな」といった道徳法則は普遍的に成り立つ、と考えました。嘘も殺人も「場合による」とする功利主義には道徳の原理がない、とみなします。ただし理論レベルでは、功利主義の最大幸福原理にも普遍性・一貫性があります。

### 解説 「道徳の原理が満たす3つの条件」

カントによれば、道徳の原理は、「目的としての行動」を指示する定言命法によって表現されます。（ちなみに、状況に応じた行動の指示は仮言命法です）

そして道徳の原理たる定言命法は、「普遍的である（＝状況によって変化しない）」「理性的な存在（＝人間）を目的として扱う」「人の相互尊重に矛盾しない」という3つの条件を満たす、とカントは説明しています。

また、私たちが真に自由な選択をするとき、特定的人格という個別の状況を離れた理性的な存在として判断をするはずなので、道徳の原理は誰が考えても同じものになる、とカントは主張します。

カントは普遍的法則をつくる能力（＝理性）を持つことが人間の尊厳の根拠だと考え、理性の尊重を基礎として道徳に関する思索を深めていきました。

### 解説 「カントが挙げた道徳法則の具体例（一部）」

「真実を語れ」「殺人・自殺をするな」「セックスは夫婦間のみ」他



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.13

## 聞き手の印象が同じなら、 全くのウソと紛らわしい真実には道徳的な違いがない。

### YES

・幸福の総量に違いがないなら、道徳的な差はない。 **ベンサム** **ミル**

### NO

・道徳的に重要なのは、聞き手の人格を尊敬に値する理性的な存在として扱うこと、それ自体であって、結果ではない。 **カント**

#### 解説 「カントは何を評価するか」

2つの具体例で考えます。まず「自分の悪事をごまかす」場合です。目的は利己的で、行為の全体は弁護できません。が、紛らわしい真実を語ることに利益はないのに、あえて嘘を回避する行為、それ自体は道徳的な賞賛に値します。

あるいは「ひどいネクタイを贈られた」場合。「すばらしい！」と嘘をつかず「こんなネクタイは見たことがないよ！」と反応するのはどうでしょうか。功利主義的な説明も可能でしょうが、そこには「真実を語れ」という道徳法則への敬意があるように見えます。カントは、これを評価するわけです。

#### 解説 「カントとリベラリズム」

日常生活の全てを道徳的に説明しようとする功利主義と、生活を基本的に道徳とは無関係の部分として扱うカントの義務論は、対照的です。

また広い意味では同じく自由主義に属するノージックのリバタリアニズムや、ロックの社会契約説とも異質です。

カントは公正な憲法を「個人の自由と全体の自由を調和させるもの」と規定し、リバタリアニズムの自己所有の原則を却下します。

また幸福は人それぞれなので、社会の目的とはいえない、と考えます。さらにカントは、正義と権利は理性の概念に基づく仮想上の社会契約に由来すると述べてロックの社会契約論とも一線を画し、リベラリズムの基礎を築きました。



# Q.14 人々が自分の利害に関わる議論を通じて、公正な社会制度を導き出すことは不可能だ。

## YES

- ・公正な制度は仮想的な社会契約から生まれる。 **カント** **ロールズ**

## NO

- ・公正な社会権力は国民の承認と信託によって成立する。 **ロック**
- ・正義と道徳は切り離せない。お互いの価値観を照し合せる議論を通じてしか、社会を導く共通善は見出せない。 **サンデル**

### 解説 「無知のヴェールと価値中立的な正義」

Q.14は、ロックの（近代）社会契約説と、カント、ロールズのリベラリズムの、大きな分岐点です。

ロックは現実の議論を重んじ、国会主権を唱えます。これに対しリベラリズムは「公正な社会制度は仮想的な社会契約から生まれる」と主張しました。カント、ロールズは「人々が自らの経験や価値観を前提として議論する限り、その結論は説得術に長けた者や、多数派に有利なものとなり、平等な権利に対して公正な制度とはなりえない」と考えたのです。

ロールズは仮想的な社会契約の具体的内容について、皆が自分自身について何ら情報を持たない「無知のヴェール」をかぶった状態で同意できる意見だと考え、「(1) すべての人々に基本的自由を保障する」「(2) 社会的・経済的不平等は、最も不遇な人々の利益に資する場合、機会の均等な職務や地位に付随する場合に限り許容する」という2つの正義の原理を見出しました。

カントは特定の幸福の概念を支持するのは公正な正義ではないと主張し、ロールズは具体的に人々は合意できる2つの原理を示しました。

リベラリズムでは、公正な正義は人々の様々な価値観から中立な存在だと考えます。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



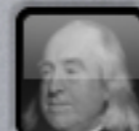
Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.15

## 個人の自由な選択を保障することが、公正な正義を行うことである。

### YES

- 他者に危害を与えない限り個人の自由は認められる。 **ノージック**
- 自分が自分に与える法則に従うことが正義だ。 **カント** **ロールズ**

### NO

- 社会全体の幸福と苦痛の差分を最大化するのが正義だ。 **ベンサム** **ミル**
- 各自が己の能力を存分に発揮することが正義だ。 **アリストテレス**

### 解説 「自由主義と正義」

ノージックのリバタリアニズム、ロックの社会契約説、カント、ロールズのリベラリズムなど、自由から正義を考える議論は、いずれも自由な権利の行使を擁護することが正義だと考えます。カントは理性が導く普遍的な道徳の原理について説明しましたが、それは個人の価値観や美徳の観念とは分離されていました。

例えばもし、アリストテレスの主張が正しいとすると、バスケットボールの超一流選手だったマイケル・ジョーダンがプロ野球に挑戦する自由は、道徳的に否定されます。自由そのものを擁護するためには、全体のためには個人の犠牲をも許容する功利主義を否定するだけでなく、個人の生き方に干渉するあらゆる価値観から中立な正義を求める他ないのです。

### 解説 「カントとロールズ」

ロールズはカントの政治論を発展させた哲学者であり、公正な正義は仮想的な社会契約から導かれること、特定の価値観に組しないことを主張することなどで一致します。ただ、カントは幸福と道徳を切り分け、理性は人々を共通の道徳の原理へと導く、と主張しましたが、ロールズは2つの正義の原理の他に、様々な価値観を持つ人々が合意できる内容があるとは述べていません。



# Q.16

難関大学への合格は、  
大学が求める資質を偶然持っていた結果に過ぎない。

**YES**

・自分の才能を求める社会に生まれるかどうかは、偶然による。 **ロールズ**

**NO**

・才能を発揮して難関大学に合格したのは素晴らしいことだ。 **アリストテレス**

## 解説 「美德は生きている」

ロールズの主張は、所得と機会が偶然に基づいて分配されるのは不公正だ、という直感に根ざしています。生育環境の違い、持って生まれた才能の違い、才能と社会の需要の適合、などは偶然によるとロールズは考えます。リバタリアニズムが支持する自由市場も、義務教育制度などで機会の均等に配慮した能力主義も、十分に平等ではないのです。それゆえロールズは、分配の正義の基準を道徳的な対価とすることを批判し、公正な期待に基づく対価として整理します。

現代の先進諸国では、人々に特定の美德を押し付けるような法律は忌み嫌われています。リベラリズムの概念が浸透しているのです。ならば難関大学への合格は、道徳的に賞賛されていないでしょうか？いいえ、現実には、多くの人々は大学合格を誇りに思いますし、社会的にも道徳的な賞賛が与えられることが多いでしょう。

人々に特定の「よい生き方」を推奨する美德に根ざす正義には、長い歴史があります。紀元前4世紀の哲学者アリストテレスの『目的論』は、美德から正義を考える主張です。現実の幸福を実現する妨げとして功利主義に厳しく批判され、個人の選択の自由を侵害するものとして自由主義にも批判されました。しかし、現代においてもなお、人々の直感の中に美德は生きている。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.17 得意なこととやりたいことが違っていった場合、得意なことをやるべきだ。

## YES

・各自が己の能力を存分に発揮するべきだ。 **アリストテレス**

## NO

・個人には自己決定権がある。 **ノージック**

・社会は個人の選択に干渉すべきではない。 **カント** **ロールズ**

## OTHER

・社会全体の幸福と苦痛の差分を検討せよ。 **ベンサム** **ミル**

### 解説 「アリストテレスの目的論」

アリストテレスは、あらゆる人や物には目的があり、その目的に適った行動や分配が正義だといいます。また人々の営みが賞賛する美德について考えることで、正義と名誉のかかわりを論じることができると主張しました。

アリストテレスは、最高の笛は最高の演奏者に与えられるべきだと考えます。笛の目的は演奏されることだからだ、と。

名誉に関わる問題では、議論に加わる誰もが目的論を前提としていることが珍しくありません。片足に障害のあるプロゴルファーのケイシー・マーティンが、プロゴルフ協会に試合中のカート使用許可を求めた裁判は、その一例です。

この裁判では、マーティンがコースを歩かずカートで移動することが他の選手と比べて不平等かどうかではなく、ゴルフというスポーツの目的に照らして妥当かどうか議論の主題となりました。最高裁のスカリア判事のようにスポーツの目的も名誉も否定し「ルールは何でもよい」と考える者は少数派でした。そのため、全員にカートの使用を許可し平等を実現する案は、議論の対象となりませんでした。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.18 自分の子と他人の子が溺れていたとき、 自分の子の救出を優先するのはえこひいきだ。

## YES

- ・親子を実質的な契約関係とみなせる場合を除き、自分の子を優先する道徳的な理由はない。

カント

ロールズ

## NO

- ・より大きな幸福を得られる選択が正しい。 **ミル**
- ・親は子に対し特別な義務を持つ。 **ウォルツァー** **サンデル**

### 解説 「コミュニタリアニズム（共同体主義）」

ウォルツァーやサンデルが属するコミュニタリアニズムは、アリストテレスの目的論と同様、善や美德と正義は不可分だと考える立場です。ただしコミュニタリアニズムは個人の権利を重視する点で自由主義と多くの主張が重なっており、個人を社会に従属させる全体主義や国家主義とはまったく異なります。

コミュニタリアニズムは、自由主義が捨象した美德の観念が現実には私たちの生活に深く関与していることに注目します。そして、道徳的な義務には「人間性の尊重など自然的で普遍的な義務」「同意、契約など自発的な特定の相手への義務」に加えて、「連帯、忠誠心など集団の構成員としての義務」があるのではないか、と主張します。

自由主義は、普遍的な義務、同意・契約による義務で説明できない「義務」は義務ではなく、克服すべき偏愛、えこひいきだと説明します。

例えば、異国で動乱が起きたとき、自国民を優先的に救出するのは国家と国民の契約に基づく義務でしょうが、自分たちと同じ民族の異国人を優先して救出するのは道徳的に正しいでしょうか。コミュニタリアンなら、「民族」という集団に連帯感を抱くことについて、少なくとも一定の正当性を認めるでしょう。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# Q.19 正義は 社会を構成する人々の「常識」に適っているかどうかによって決まる。

## YES

・人々の共通の理解に忠実に営まれるのが正しい社会である。 **ウォルツァー**

## NO

- ・幸福の最大化と、常識の実現は、必ずしも一致しない。 **ベンサム** **ミル**
- ・正義とは、自由な選択を保障する公正な制度だ。 **カント** **ロールズ**
- ・正義とは、各自が己の能力を存分に発揮することだ。 **アリストテレス**
- ・かつてのアメリカでは、奴隷制度や人種差別が道徳的に正しかったのだろうか。  
正義とは、そのような相対的なものではないはずだ。 **サンデル**

### 解説 「素朴なコミュニタリアニズム」

ここまでところどころに登場した『ウォルツァー』タイプの主張は、「大多数の者の意見が正しい」という内容の繰り返しでした。

ウォルツァー自身は、それぞれの問題について自分なりの考えを持っていたことでしょう。しかし彼が主張した素朴なコミュニタリアニズムの見解は「ある社会における正義とは、その社会の構成員にとっての常識的な理解によって決まる」というものであり、彼の個人的な見解は重要ではなかったわけです。

### 解説 「素朴なコミュニタリアニズムへの懸念」

親子の絆や郷土愛など、自由主義が導く価値中立的な権利保障の枠組みから外れる人々の素朴な美德の観念を、人々の常識的な理解に基づいて正義と結びつけるのが、素朴なコミュニタリアニズムの考え方です。これは多くの人の実感に合致する考え方ではありません。

しかしながら、この発想を延長すると、特定の時代や集団では奴隷制や人種差別も「正しい」、ということになってしまいます。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



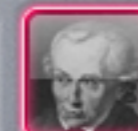
ミル



ノージック



ロック



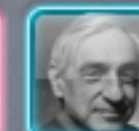
カント



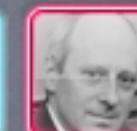
ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# Q.20 人々の価値観が様々でも、 議論によって、皆が納得する考えに到達できる。

## YES

- ・いかなる状況でも同意に至るという保証はないが、活発で積極的な議論によって、道徳に関与し、相互的尊重を促進する政治は可能だと思う。 **サンデル**

## NO

- ・政治と法律が道徳的・宗教的論争の領域に進出すれば、強制と不寛容への道を開く。既に存在するそのような制度は撤廃すべきだ。 **カント** **ロールズ**

### 解説 「共通善の追求」

サンデルは正義を相対的なものとするウォルツァーの考え方を批判し、絶対的な共通善を議論により追求するコミュニタリアニズムのあり方を提言しています。ウォルツァーとサンデルの違いは、「共同体の正義を見出すにはアンケート調査で十分なのか、それとも議論が必要なのか」とも表現できるでしょう。

サンデルはまた、リベラリズムが浸透した社会が美德に関する議論などを回避し、道徳的不一致を抑制する風潮を生んでいることを批判します。

例えば同性結婚の是非について、リベラリズムは「異性愛者と同性愛者には平等な権利がある」「そもそも政府が特定の人と人の結びつきに特別な価値を与えることには道理がない」といった主張をします。それは結婚の目的という人々の美德の観念を無視した主張です。価値観の異なる人々は美德の議論で合意できないので、政治はそのような議論を回避すべきだと考えるのです。

しかしサンデルは講義の中で、学生たちの議論が「結婚制度は2人の独占的で永続的な関係を賞賛する」という結論に達することを示しました。

いつもこのように結論が出るとは限りませんが、道徳に関与する政治は、公正な社会の実現をより確実にする基盤になる、とサンデルは主張します。

## 講義の概要

YOUTUBEに公式にアップされている、ハーバード大学のサンデル教授の講義は12回に分かれています。ここでは、講義の流れを9人の哲学者を軸にして、簡単に説明したいと思います。

### はじめの質問

「1人を殺せば5人が助かる状況があったとしたら、あなたはその1人を殺しますか？」さあ、あなたならどのように考えますか？ここで、決断材料は大きく分けると2つ。1つ目は結果を考えること。5人が助かるという結果を考えれば、1人の犠牲はやむを得ないという考え方。2つ目は、どんな状況であれ、そもそも殺人がおかしいという考え方。あなたならどちらでしょうか。

殺人がおかしいと考えたあなた。では、殺される1人が、くじ引きによって決められたとしたらどうでしょうか。もちろん本人の同意済みです。あるいは、自発的に「私を殺してくれ」と言ってきたとしたら？本人による、殺人に対する同意があったならばどうでしょうか。もし、この同意の考えを取り込むことで、あなたの考えが揺らいだ、あるいは、考え込んでしまったのであれば、「同意」にはものすごく大きな力があることになるでしょう。もちろん、同意があろうがなかろうが、どんな理由があれ、殺人は殺人であり、正当化されるべきものではない、という意見も重要な考え方です。

## 功利主義

「5人が助かるという結果を考えれば、1人の犠牲はやむを得ない」という考え方、結果を重要視することについてまずは考えていきます。結果を重要視することを別のいい方に変えると、帰結という言葉になります。そしてそのように考える論者を帰結主義、とりわけ功利主義と呼ばれています。

功利主義の創始者はベンサムという哲学者です。この電子書籍で紹介する9人の哲学者のうちの1人目です。彼は最大多数の最大幸福を考えました。1人よりも5人の幸福を考えて、結論を出します。逆に言うと、少数の意見がないがしろにされてしまう場合もあります。

古代ローマでは、大人数のローマ人の娯楽、幸福のため、キリスト教徒とライオンを戦わせるショーがあったそうです。功利主義は少数の意見、少数の権利をないがしろにしてしまうのでしょうか。いいえ、少数である個人の権利を尊重した功利主義者もいます。それが2人目の哲学者、ミルです。

彼は「血の通った功利主義」を唱えました。個人の権利を尊重することで、長期的にみて社会全体が向上するとしたのです。空港建設の例を考えてみましょう。空港建設は最大多数の最大幸福につながります。しかし一方では、立ち退きをせざるを得ない個人もいるでしょう。「素朴な功利主義」なら個人のことは大きく考えず、最大幸福のため空港建設を推し進めるでしょう。しかし、「血の通った功利主義」ならば、最大多数の幸福のため、立ち退きはしてもらおうが、立ち退くかわりに別で代替するなど、個人の権利も尊重するでしょう。次は個人の権利についてもう少し考えてみましょう。



## リバタリアニズム

3人目の哲学者、リバタリアニズム（自由原理主義）のノージックは個人の権利を主張します。リバタリアニズムを推奨する者はリバタリアンと呼ばれています。彼らはシートベルト着用という自分を守ることを強制するような干渉主義的な法律に反対し、同性愛者間の性的な親密さを禁止するような道徳的な法律に反対し、金持ちから貧しい人に再分配する課税法に反対します。

リバタリアニズムの考え方の根本的な原則に自己所有の考え方があります。課税について考えると、課税は極端に言えば強制労働に等しい。個人の労働に対する独占権を政治団体が部分的に所有していることになる。ある意味、奴隷です。自分の一部が政治団体に所有されている。自分は自分で所有されるべきだ、と考えます。しかし、彼らは民主主義を否定しているわけではありません。制限のなかった民主主義を求めているのです。自己所有をおびやかす法律には制限をかけ、民主主義という大多数の意見は尊重する。他人に大きな迷惑をかけないのなら、私たちの自由は社会が法律で縛るべきではないのです。

ノージックの自己所有の発想は、4人目の哲学者、ロックから借りてきています。ロックは同意や契約をものすごく大切にした哲学者です。

## 同意と契約

4人目の哲学者、ロックは政府ができる前の状態、法律ができる前の状態を考えました。その状態を自然状態と呼び、そこにも権利が発生しているとしました。その権利を自然権と呼びました。生命・自由・財産といった権利です。自然状態では、自由で平等だが、好き勝手に行動することとは違い、ある種の法も存在するとしました。それは私たちが他の人の生命・自由・財産を取り上げることはできない、という自然法です。

そしてロックは自己所有の考えを持ち出します。例えば、まだ誰も所有していない土地があった場合、あなたはその土地に労働を加えたとします。荒れた土地を畑になるように耕す、という労働を加えたとします。自己所有の考えから、あなたの労働はあなたが所有していることになるのだから、労働は財産です。誰も所有されていないところに、あなたの労働を加えることで、あなたが所有できることとなります。

しかし、自然状態では、人々が行き過ぎた自然法の侵略行為が行われるでしょう。自然状態はとても暴力に満ちたものです。そのため、所有物を守るため、自然状態から離れ、多数派や人間の法のシステムに支配されることに「同意」することで、社会に入り、政府をつくるのです。

ロックは「同意」という考えについて論じた偉大な哲学者の1人です。ロックは、同意に基づく政府の理論を発展させたいと思っていました。そのため、多数派によって決めた契約を重要視します。



## 仮説的な契約

ロックは同意に基づく政府を重視したため、課税・徴兵も多数派の同意に基づくのなら、権利の侵害にはならないとします。この点がリバタリアニズムのノージックとの違いでしょう。また、ロックは契約を重視したわけですが、5人目、6人目の哲学者はともに「仮説的な契約」を重視します。

5人目の哲学者はカントです。功利主義を否定し、行動や結果ではなく、動機を重要視しました。最初の質問に戻れば、「殺人は殺人だ」と、カントならどんな理由があろうと否定するでしょう。

6人目の哲学者はロールズです。彼も功利主義を否定しています。ロールズは正義の原理は「仮説的な契約」から導き出されるとしました。彼は「無知のヴェール」という考え方を提示しました。例えば、あなたが社会的な地位があるのか、ないのか、金持ちなのか、貧乏なのか、健康なのか、病気になるのか、そういった状態がいっさいわからない状況を「仮定」して、社会のルールをつくれれば、より平等な社会契約ができそうだ、というものです。

ロールズはハーバード大学の教授でもありました。彼は1971年に著書「正義論」を発表し、大きな反響を呼びました。そして正義は道徳とは分離すべきだとしました。実はサンデル教授は正義と道徳とは結びつけるべきだと主張しています。

サンデル教授の前に7人目の哲学者を紹介します。古代ギリシアの哲学者、アリストテレスです。彼は正義と道徳を結びつけています。

## アリストテレスの正義

7人目の哲学者、アリストテレスが正義を考える上で重視することは目的と名誉です。誰が政治的発言力を強く持つべきかといった分配の正義を考えた場合、アリストテレスなら、まず目的を考えます。

アリストテレスは政治の目的は「善き生の実現」だとします。正しい生き方を身につけるためには、市民は政治に参加すべきだとしています。徳を実践し善の本質を議論し続けることを重視します。美德は実践なしには得られないのです。そして、善を追求する集団に最も貢献する者が、政治的発言力を強く持てます。さらにその者には名誉を与えることも政治の重要な点だとしています。

最高のフルートがあった場合、誰がフルートを手にすることが正義の分配にかなっているのでしょうか。アリストテレスは最高のフルートは最高の演奏者に分配されるべきだとしました。それがフルートの目的だからです。そして最高の演奏者には名誉が与えられます。

アリストテレスは、最高の演奏者は優れた能力を持っているのだから、存分に能力を発揮することが重要だとします。人の能力に適合した分配こそ正義だとするのです。しかし、カントやロールズはここに自由がないと言っています。能力に沿って役割を分担されてしまうと、あなたの能力と、あなたのやりたいことが異なっていた場合、あなたのやりたいことを自由に選択することを保障する社会こそが、公正な正義を行うことだ、と言うのです。

ロールズは自由な選択を保障することが公正な正義だと指摘しています。そして、正義を道徳的対価や美德と結びつけることは、自由から遠ざかることであり、個人の尊重から遠ざかることだと考えています。あなたはどう思いますか？



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



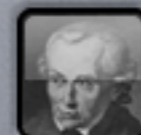
ミル



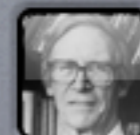
ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



## コミュニタリアニズム

最後にコミュニタリアニズムを紹介します。コミュニティの構成員として、同意とは別のところで義務が発生しているという考え方です。例えば、あなたは日本というコミュニティに属しつつ、会社あるいは学校というコミュニティに属しつつ、そして、家族というコミュニティに属していると思います。

もし、自分の子と他人の子が溺れていて、どちらかしか助けられない状況にあなたが遭遇したらどうしますか？ コインを投げてどちらを助けるのかを、決めますか？ 自分の子を助けに駆けつけなかったら、どこか道徳的に鈍感だとは思いませんか？ もし、そう思ったのなら、これは家族というコミュニティに属していることで生じる義務があるからではないでしょうか。

コミュニティに属していることで生じる義務によって、行動を起こすことに正義を感じる人も多いのではないのでしょうか。しかし、私たちは複数のコミュニティに属しており、義務と義務がぶつかりあってしまうこともよくありますよね。どちらの義務を重要視するのは、人によって違うでしょう。そのため、ロールズならここに正義の原理はないと言うでしょう。

8人目の哲学者、コミュニタリアニズムのウォルツァーは、正義は社会を構成する人々の「常識」に合っているかどうかによって決まるとしています。ロールズとは反対の意見です。

9人目の哲学者、サンデル教授は同じくコミュニタリアニズムですが、ウォルツァーの意見には反対です。もし正義が、社会を構成する人々の常識に合っているのなら、奴隷制度や人種差別を認めていた、かつてのアメリカの常識は、道徳的に正しかったと言えるのだろうか、として反対します。

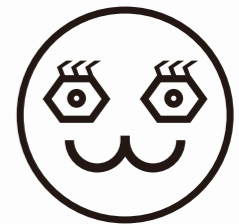
## 正義と議論

私たちの社会は、多様な価値観で成り立っています。そして善と善がぶつかりあい、何を正義として結論を出していけばいいのか、わからなくなることがよくありますよね。サンデル教授は、社会の構成員が各々の道徳観念に基づく主張をし「議論を行う」ことによって、「共通善」を見出すことができるのではないかと訴えています。

議論するためには、他者に関心を持ち、時には挑み、競い、そして耳を傾ける。他者の宗教的、道徳的な教義をより深く学ぶこと、深く考えることが重要だとしています。

政治哲学というとちょっと難しそうに聞こえてしまいます。しかし、実際には私たちの身の回りのことを考え、私たちが決断する上で非常に重要な考えの原点になるものです。あなたが、あなたの正義を考える際、常に他者の意見にも耳を傾け、友達と議論しましょう。アリストテレスが言うように、美德とは実践なしでは得られないのです。あなたも常に議論し続けることで、あなたが求めている正義というものがきっと見つかると思います。

セイギ  
ギロン



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

# セイギマニュアル

人間には様々な考え方があり、それぞれに「正義」があります。  
意見が対立したとき、重要なのは、自分にも相手にも、ゆずれない「正義」があることを認めること。「正義」を大きく『結果』『自由』『美德』に分類することによって、議論をより明確にし、よりよい結論を目指しましょう。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



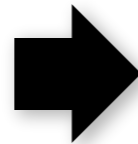
サンデル



## Step 1

あなたの「正義」をまとめる  
あなたが一番大切なのは ...

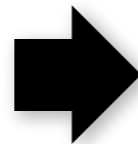
**A.** 社会、幸福!!  
結果の正義を重視  
(ベンサム) (ミル)



幸福と苦痛の差分を最大化することを目指そう。

- ・全体の幸福を最大化するには？
- ・もっと苦痛を減らせないか？

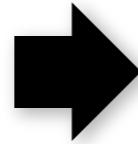
**B.** 人間、公正!!  
自由の正義を重視  
(ノージック) (ロック)  
(カント) (ロールズ)



誰もが人として権利を尊重されることを目指そう。

- ・個人の希望を最大限実現するには？
- ・犠牲を最小化するには？

**C.** 生き方、善!!  
美德の正義を重視  
(アリストテレス)  
(ウォルツァー) (サンデル)



人生や社会の目的と理想の実現を目指そう。

- ・人として正しい生き方とは？
- ・社会のあるべき姿とは？



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル

## Step 2

## みんなの「正義」をまとめる

みんなが問題にしているのは ...

- A.**
- ・ 結果の善し悪し?
  - ・ 成果とコストの相対的な比較?
  - ・ 理屈に現実が邪魔されること?
- ➡ 『結果の正義』を重視
- B.**
- ・ 機会の不均等などの不平等さ?
  - ・ 誰かが損をしていること?
  - ・ 個人の意思が無視されていること?
- ➡ 『自由の正義』を重視
- C.**
- ・ 理想とのズレ?
  - ・ 「〇〇として当然」の何か?
  - ・ 目標や原点を見失っていること?
- ➡ 『美徳の正義』を重視



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



**Step 3****議論をしてみよう**

実りある議論のために ...

1. Step1,2 を踏まえて、お互いの「譲れないこと」を明確にする。
2. 本質的な衝突はどこにあるのか「譲れないこと」から検討する。
3. 全員の「譲れないこと」を最大限実現できる解決策を考える。
4. やむを得ない場合は優先順位をつける。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス

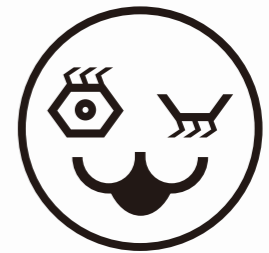


ウォルツァー



サンデル

# おわりに



サンデル教授の講義を知るまでは、正義というと、「正義のヒーロー」といった、悪を退治する絶対的な正義という印象が強く、自分と正義について、ちゃんと考えたことはなかったなと思いました。どうやって正義について考えればいいのかも、わからなかったように思います。

しかし、講義の流れを知っていくうちに、功利主義、リタリアニズム、リベラリズム、コミュニタリアニズム、といった様々な考え方があり、正義を軸に考えれば、哲学者のつながりも見えてくるのだとわかりました。また、その哲学者たちの考え方が、私たちの社会に影響を与えているのだと気付くこともできました。

自分の正義について考えることは、自分の生き方を決めることにも近いように思います。逆に言えば、正義の質を高めることができれば、人生の質を高めることもできるのではないのでしょうか。自分の正義の質を高めるには、自分とは異なる考えにも目を向け、自分の正義を軸に議論し続けることが重要だと思います。

最後までお付き合いくださり、ありがとうございました。  
この電子書籍によって、あなたが正義について深く考えるきっかけになったら、私たちはとてもうれしく思います。

ヒロケン・ホクト・ジマ



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



# WEB

最新情報はこちら

# MAIL

お気軽に感想をお寄せください。



HOME



目次



タイプ診断



哲学者



Q 20



講義の概要



マニュアル



ベンサム



ミル



ノージック



ロック



カント



ロールズ



アリストテレス



ウォルツァー



サンデル



***VISUALECTURE***  
**BOOKs #001**